

# 家庭教育講座を開催しました！

松伏町教育委員会と松伏小学校、金杉小学校、松伏中学校、松伏第二中学校の各教養委員会、松伏第二小学校文化委員会が共同で家庭教育講座を開催しました！

## テーマ〈実践に見る効果的な子育て〉6月2日(土)

講師 まつぶし幼稚園園長 若盛 正城 氏

子どもを一人前と認めていく、励ましていく、信頼していく、そして子どもに笑顔を忘れずに接することが、やる気と意欲の基本です。

- ①自主性や才能は褒めて伸ばす！  
(お母さんの笑顔や口ぐせは、子どものやる気の源)
- ②肯定的なメッセージをたくさん発信していきましょう！  
(「すごいね・ありがとう」等)
- ③否定的なメッセージは不安感や無気力感を育ててしまいます。  
(「情けない・嫌い」等)
- ④落ち着いて行動できる子を育てていきましょう！  
(親から愛され、信頼されているという実感から心の安定を育てていく。)
- ⑤心やさしく、他を思いやる子を育てていきましょう！  
(子どもとのスキンシップ)
- ⑥自立へのすすめ…子どもが家族にとって大切な一員であることを伝えていきましょう！  
(基本的な習慣・小さなお手伝い等)



## テーマ〈子どもの心と付き合うために～子どものいじめ・人権～〉6月14日(木)

講師 子育てアドバイザー 田井 玲子 氏

「日本のいじめの実態」「実際にあった最近のこないじめの実例」「いじめられてる？いじめてる？いじめのサインを見逃さないで」「どうしていじめはおこるの？」「実践してみよう—家庭での心がけ」等の講話と、ロールプレイングでは4～5人のグループに分かれ、いじめられる子ども・いじめる子ども・それぞれの父親と母親の役等を決め寸劇を行い、お互いの気持ちを汲み取って見る機会を得ることができました。

## テーマ〈家庭教育に期待すること〉7月19日(木)

講師 松伏町教育委員会 石井 哲也 教育調整官

大人だって、ほめられればうれしいものです。ましてや子ども。安全や人権に関わること以外は、できるだけほめたいものです。「叱る」「ほめる」はバランスよく、親の生きざま(親の後姿)を見せながら、子どもを信じて見守ることが家庭教育のポイントです。①勉強する目的(夢)を持たせる、②社会性(命の大切さ・規範意識)を身に付ける、③責任をとらせる・我慢させる等、先生の体験談・失敗談を交えながらの講話でした。

## テーマ〈勉学(勉強)に励む子に〉7月26日(木)

講師 松伏町教育委員会 奥住 公夫 教育長

0～6歳は信頼感(愛情・忍耐)、6～12歳は成就感(思いやり・正義感)、12～18歳はけじめ(判断力・実行力・人の世の情け)を自覚する時期であり、父親・母親の役割が大切です。心理学の面からも家族のコミュニケーションの必要性を学びました。学習の環境づくりは、①生活時間を決める、②家族が新聞や本を読む習慣、③心身の健康づくり、④家族一人一人の願いや夢を語り合う、⑤温かい家族関係づくりであるという講話でした。

